

# 介護現場で働く人々の暮らしと やりがいを支える集会

## 趣意書

現在、介護の現場は、光熱水費や食材料費（給食の委託費）の高騰の影響から、過去にないほどの厳しい経営環境にあり、事業の運営に支障を来す事態が生じています。

これまで、国では累次の処遇改善に取り組んでいただき、さらには介護事業所としても自助努力による処遇改善にも取り組んできたところですが、公定価格である以上、処遇の改善には自ずと限界があります。

その結果、介護関係団体が緊急に実施した調査では、令和5年度の賃上げ率が1.42%と、春闘の賃上げ率3.58%を大きく下回っている状況です。

またこうした中、介護現場からの離職者が顕著に増加していることがわかりました。特に経験を有する中堅の人材の離職率は50%近く増加し、他業種への流出も多くみられ、今までにない、待たなしの危機的な状況が生じています。

この度、国の「新たな総合経済対策」におきまして、国会議員の先生方のお力により「医療・介護・障害福祉分野においては、2024年度の医療・介護・障害福祉サービス等報酬の同時改定での対応を見据えつつ、喫緊の課題に対応するため、人材確保に向けて賃上げに必要な財政措置を早急に講ずる。」と記載が入ったことに感謝申し上げます。これを現実に実行し、介護現場で働く職員の暮らしとやりがいを支える給与体系を可能にし、介護事業所が質の高い介護サービスの提供を継続するには、次期介護報酬の大幅な増額とそのための財源確保が不可欠です。

そこで、来年度予算が決まるこの重要な時期に、介護関係団体の代表者が呼びかけ人となり、介護の現場で働くスタッフ、関係者が一堂に会し、想いを声にして、国会にそして省庁に届けるべく、「介護現場で働く人々の暮らしとやりがいを支える集会」を開催することといたしました。皆様のご参集をお願いいたします。

令和5年11月  
発起人一同